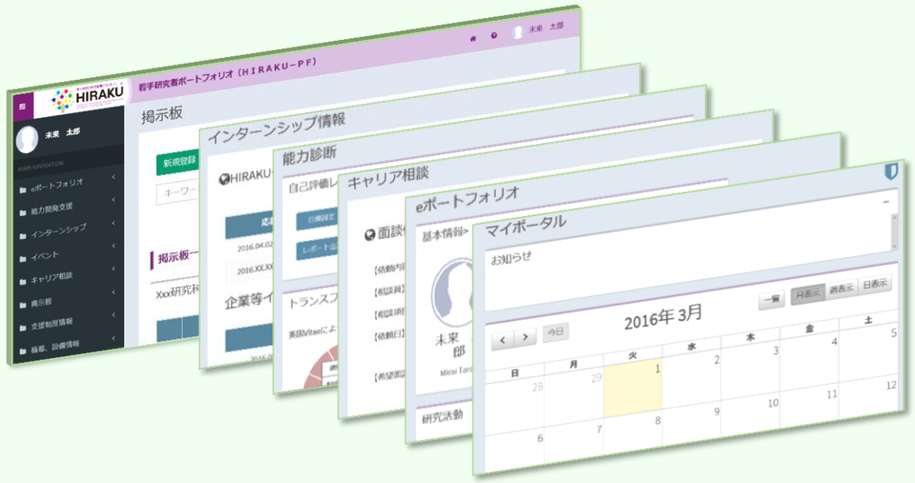
若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU-PF）とは

若手研究者ポートフォリオ HIRAKU-PF は、未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU） の展開を支援する基幹ITシステムとして、2016年３月に運用を開始しました。

博士課程学生やポストドクター等若手研究者向けの能力開発、修得した能力の指標化、若手研究者や研究シーズの検索機能などを通して、次世代のイノベーションを担う人材を支援します。さらに、所属や分野を超えたつながりを形成し、人材や技術の活発かつ効果的な流動を促します。



[HIRAKU-PF 利用登録のご案内]

1.まずは http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku へアクセス！
2.「HIRAKU-PF」のタブをクリック！
3.「ユーザー登録」からメールアドレスで仮登録！*
4.メールに添付された本登録用URLへアクセスしてユーザー登録！
5.メールアドレスと登録したパスワードでログイン！

*ここから登録できるのは、以下のHIRAKU連携機関に所属し、
所属機関のドメインの入ったメールアドレスを利用している者に限ります。
広島大学 、山口大学、徳島大学、岡山大学、島根大学、鳥取大学、
愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、岐阜大学 、
県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学　（2016年3月現在）

登録できない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

未来を拓く地方協奏プラットフォーム HIRAKU Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users
[お問い合わせ先]　未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営事務局
(広島大学グローバルキャリアデザインセンター内)
TEL：082-424-2058　MAIL：hiraku@hiroshima-u.ac.jp
URL ：http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/

博士課程学生・若手研究者の皆様へ

若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU-PF）2016年 3月 運用開始

http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku

未来を拓く地方協奏プラットフォーム HIRAKU Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users

2016年3月発行

若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU-PF）はじまる！

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU）」では、中国・四国地方を中心とする西日本の国公私立大学、企業、公的機関等が産学官コンソーシアムを形成し、高度に複雑化した現代社会の課題解決を担う博士人材の輩出を目指しています。その基幹ITシステム「若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU－PF）」は、いろいろな「あつまる」・「つながる」・「まじわる」機能を通じて、博士課程学生を含む若手研究者が社会とのつながりを深め、新たな出会いや気づきの中で自らの未来を拓くことができるようにサポートします。

若手研究者も企業も あつまる

HIRAKUに参画する多くの国公私立大学の博士課程学生・若手研究者、幅広い企業・公的機関が参加します。様々な情報提供が行われるだけでなく、全ての参加者にアカウントが付与され、HIRAKU-PF内で活動することができます。

インターンシップで まじわる

博士課程学生・若手研究者向けのインターンシップの情報が集約され閲覧できるだけではなく、応募や必要書類のアップロードもHIRAKU-PF上から行うことができます。もちろん、HIRAKU-PF上から企業/公的機関へ直接質問も可能です。若手研究者からの提案が新しいインターンシップや共同研究につながる流れも期待されます。

キャリア相談で未来を HIRAKU

キャリア相談やインターンシップ等の相談も、HIRAKU-PFを通じて可能になります。また、各種支援情報も提供されます。

ポートフォリオで まじわる

全ての参加者にポータルページが用意され、研究内容・実績等をHIRAKU-PF内だけでなく世界中にPRできます(閲覧可否設定可能)。学会発表資料等のアップロードの他、動画によるアピールも可能です。HIRAKU-PF内で参加者へ即時に連絡をとることも可能です。

交流機能で つながる・未来を HIRAKU

参加者同士の連絡機能はもちろん、掲示板機能も用意。博士課程学生・若手研究者がスレッドを立て、若手研究者主体のイベント運営や情報交換などに利用することも可能です。

能力開発で未来を HIRAKU

社会の多様な場で能力を発揮し、グローバルに活躍できる能力を身につけるために有益なセミナーや講座情報を提供します。また、英国等でも導入されている能力の自己診断機能を通じて、自身の強みと弱みを把握し、成長することができます。

※HIRAKU-PFの画像はイメージです。アカウントによっては利用できない機能があります